



国労天車

国労天王寺車掌区分会
発行・荻島 康博
編集・編集部
2025年 11月20日
NO. 1452

大阪・関西万博で運輸収入増に 「万博一時金支給を要求」する

2025年11月11日
第89回定期分会大会を開催
来賓の挨拶

「山下大阪地区本部執行委員長」

世界では、未だ終戦の見えない紛争・国内では、7月の参議院議員選挙で自民党の歴史的大敗で自公連立政権解消し、日本維新の会と連立し高市早苗自民党総裁が女性初の内閣総理大臣に選出された。

JR西日本の情勢について「大阪・関西万博」は、国内外から多くの来場者で想定以上の運輸収入増により「会社に万博一時金支給の要求」を強く求めています。

これから引き続き、他労組合員への声掛けで「組織拡大」の取り組みをお願いします。



「荻島分会執行委員長」の挨拶 JR西日本は、2026年3月期の連結業務予想を上方修正し、純利益1185億円に引上げ過去最高の純利益を更新する見込みです。

半年間に亘って開催された「大阪・関西万博」は、国内外から多くの来場者により想定以上の運輸収入が見込まれることから、社員への「一時金支給を要求」する。

ローカル線では赤字路線を口に「維持困難路線」を大々的に宣伝し、3年を目途に方針が出され国の責任において「公共交通」を守る責任がある。

総括駅体制に伴い、無人駅と時間帯無人駅から駅でのお客様対応と要員不足・休日出勤・勤務変更・年休抑制で「天王寺・あべの」車掌区では、乗務員への負担が増大している。

これから、全組合員の力を結集し、他労組合員に「声掛け」を引き継ぎ取り組み、明るく楽しい分会運動を取組んでいきましょう。

将来にわたり利用しやすい地域交通を守ろう

2022年～2024年度で利用者が少ない路線の平均収支で和歌山県内の紀勢線「白浜～新宮間」で31億2千万円と山陰線「益田～出雲間」の（赤字額32億5千万）に次ぐ2番目の最大赤字額にJR

西日本は「大量輸送の鉄道特性が発揮できる水準」2千人を大きく下回る平均乗客数960人「乗客のほとんどが高校生」で、今後の少子高齢化で需要拡大が見込めない「紀勢本線活性化促進協議会白浜・新宮区間部会」は、収益確保のインバウンド（訪日観光客）で特急乗客増加の利用促進をめざし特急「くろしお」6往復11月4日～来年3月末まで増便し、26年度に同区間1040人の目標だが厳しい状況で「将来にわたり利用しやすい地域交通」として増便による目標達成状況を話し合っていくとしている。

【別紙】2024年度 輸送密度（平均通過人員）2,000人/日未満の線区の経営状況（2022-2024平均）

路線名	区間※ ※「データで見るJR西日本」で 平均通過人員を表示している区間	営業 初	2022-2024年度平均				平均通過人員【人/日】		
			線区運輸収入 (A)【億円】	線区営業費用 (B)【億円】	収支率 A/B	線区営業係数 100・B/A【円】	1987年度	2024年度	2024/1987比
山陰線	城崎温泉～浜坂	39.9	1.2	10.7	11.2%	890	4,966	574	12%
	浜坂～鳥取	32.4	1.1	8.8	12.2%	821	4,878	763	16%
	出雲市～益田	129.9	7.5	40.0	18.7%	536	2,779	868	31%
	益田～長門市	85.1	0.6	13.0	4.5%	2,227	1,663	210	13%
	長門市～小串 長門市～仙崎（注）	52.8	0.5	7.0	6.8%	1,469	2,424	185	8%
関西線	亀山～加茂	61.0	2.3	20.7	11.3%	884	4,294	978	23%
紀勢線	新宮～白浜	95.2	5.7	36.9	15.4%	650	4,123	960	23%

